

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	端山園	代表者	山内幸雄	法人・事業所の特徴	平成27年 きょうと福祉人材育成認証の取得。 リガーレグループとの連携による各種研修への参加、伝達研修の実施。 プリセプターシップの導入。毎月1回木曜、コーヒーサロン、コンサート等実施、地域の方の参加あり。 秋祭りを開催し地域の方に参加してもらっている。
事業所名	栗栖野の家	管理者	田中雅憲		

出席者(人)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計(人)
	0	0	3	0	0	1	0	2	0	6

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価の部分であまりできていないにチェックがある。年々あまりできていないのチェックが減っていくように日々のミーティングやフロア会議等で情報の共有を図っていく。	あまりできていないのチェックが全て改善は出来なかった。少しずつでも減っていくように、ミーティングやフロア会議は開催できている。	フロア会議やミーティングは定期的に行われており、情報共有は行われているようである。	前回に引き続き、あまりできていないのをチェックが減るように問題点をフロア会議等を通じて取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	催しの際の看板をもっとわかりやすく入りやすいものに工夫をしていく。	催しの看板は上手くアピールすることが出来なかった。	催し時の看板は課題であるが、事業所内の飾りつけは利用者に対する歓迎の表れが感じて良い。	道路に面して設置してあるポストを活用して、地域にアピールできるよう検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	今年は、介護保険の説明会を1回のみで開催であった。相談の機会を増やす。地域のイベントや行事の参加が少なかったので参加や協力をしていく。	相談は常に受け付けているが、説明会は行えなかった。地域の行事の参加も少なかった。近所の保育園との交流は活発に行えた。	保育園との交流はとても良い。事業所の周りを散歩したり地域の行事に参加したり事業所の行事に地域の方を呼んだりして共に楽しむことが大事と思う。	保育園との交流を継続し、地域の行事参加することで地域とのかかわりを持つ。今年度行えなかった介護保険の説明会の開催を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	個別ケアに取り組み買い物レクや散歩等を継続して実施。ご利用者に楽しんで頂くために地域の行事やイベントの参加を増やす。	個別ケアの買い物レクや散歩は実施できている。地域の行事参加はあまり出来なかった。	個別レクの充実が良い。地域の行事参加はドンドンしてほしい。	地域行事に参加して、利用者が地域に根ざした暮らしをできるように取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議で出た情報を頂き、参加、協力をしていく。	運営推進会議で事業所内のしつらえの改善などはできたが地域へのアピールは不十分であった。	意見として発した事に対して真摯に取り組んでもらっている。	引き続き、運営推進会議での意見を活用できるように取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方も参加した防災訓練の実施。地域の防災訓練に参加する。	事業所の避難訓練は出来ているが、地域の防災訓練の参加は出来なかった。	災害時、地域(町内)で見守っていくように話し合いをしている。	まずは、地域の防災訓練に参加する。